

第1部 『家族・当事者・精神科医の3つの立場から思うこと』 精神科医 夏苺郁子さんの講演

『こんなにも平和な時間の中に自分が今いることが夢のようで、信じられない。こんな未来が待っているとは、30年前の私は想像もできなかった。「人生って素晴らしい……」、心からそう思っている。』

夏苺先生は幼い頃に母親が統合失調症を発症し、自身も摂食障害や自殺未遂を経験しておられますが、さまざまな人との関わりの中で、自身の回復の道を見つけてこられました。

家族・当事者・精神科医の3つの立場を経験した中から、「人の回復に締め切りはありません。」「私を回復に導いたのは薬ではなく人だった。」と述べておられます。夏苺先生のメッセージをみなさんと一緒に受け取りませんか？

第2部 シンポジウム 『色々あるけど、元気にやっています!』

第2部では、大東市在住の精神障がい当事者の方とご家族の方をシンポジストにお招きし、当事者・家族それぞれの立場から人生の苦楽や今後の希望など、思い思いのお話をさせていただきます。夏苺先生にもコメンテーターとして引き続きご参加いただきます。コーディネーターには、大阪精神保健福祉士協会副会長の金文美さんをお迎えします。

是非シンポジウムにご参加いただき、「いろいろあるけど、元気にやっぴいこう!」と思っぴいただければと思っぴいます。

夏苺郁子さんプロフィール



児童精神科医、医学博士。1954年、北海道札幌生まれ。
浜松医科大学医学部卒業後、同精神科助手、共立菊川病院、神経科浜松病院を経て、
2000年、静岡県焼津市に「やきつべの径診療所」を夫と共に開業。
精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本児童青年精神医学学会認定医、日本うつ病学会、
日本統合失調症学会。

著書

『心病む母が遺してくれたもの：精神科医の回復への道のり』
『もうひとつの「心病む母が遺してくれたもの」：家族の再生の物語』
『人は、人を浴びて人になる』

※『人は、人を浴びて人になる』を会場にて販売しています。



会場案内 大東市立市民会館

〒574-0076 大阪府大東市曙町4番6号
TEL:072-871-0001 FAX:072-871-0004
http://www.k3.dion.ne.jp/~daito_s/

JR 学研都市線住道駅下車 徒歩10分
近鉄バス大東市役所前下車

会場に駐車場がございますが、台数に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

